

平成29年度

新潟県優良リサイクル事業所表彰(新潟県環境会議議長 米山 隆一)

緑水工業株式会社(長岡市)

下水道汚泥を微生物により分解し、汚泥発酵肥料として、製造・販売を行っています。また、肥料を東日本大震災の海岸再生プロジェクトや信濃川河川公園向日葵植栽等に提供するなど、社会貢献も行っていきます。

受賞者より

弊社は、県内33の事業所で上下水道施設の運転・保守・点検業務をコア事業とする会社です。平成15年から、施設で発生する汚泥を肥料として製造・販売を通じて、資源の有効活用に努め緑を育てる肥料として循環型社会への適応を目指し、再び自然へ還元しています。

下水道汚泥には、植物の成長に必要な窒素・カリウム・リン等の有効成分が含まれています。(日本はリン鉱石の発掘がなく年間28万トンが農地に施肥。再資源利用は農業生産維持にも重要)

宮城県名取市の「東北にもう一度 白砂青松を取り戻す」海岸再生復興支援や、被災地の野菜農家にも利用頂いてます(累計15kg袋、6,300袋)。信濃川河川敷の5万本の向日葵植栽にも肥料提供と作業支援で、長岡花火(夜の大輪)と向日葵植栽(昼の大輪)に協力しています。

特例子会社「夢ガーデン」では、耕作放棄地で弊社肥料を利用した山菜・野菜栽培で里山再生への環境保全活動も実施しています。

毎年10月に開催の水環境フォーラム(今年のテーマ「下水道は資源の宝庫!」)では、水と環境関連や、下水道汚泥を安全に肥料加工し農業に役立てる講演等もあり、今後の参加を御待ちしております。

今後も、肥料を通じた弊社の取組みで地域への還元と環境保全に一層力を注いでまいりますので、引続きご理解・協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。



コンポストセンター全景



YM菌による高温発酵



下水道汚泥を原料とした製品



東日本大震災被災地への肥料搬入



長生橋と満開の向日葵